

## 文の作成力を鍛える

「動画でわかる 2025年度・技術士二次試験対策」に関する動画

### ■8項目のテーマ

1. 2025年度・技術士二次試験対策の概要
2. 記述式試験の特徴を考えた受験勉強をする
3. 「“解答を書く力”を鍛える」の概要
4. 「1分で理解できる解答」の概要
5. 「1分で理解できる解答」を書く力を鍛える
6. 文に変換する力を鍛える
7. 文の作成力を鍛える ←
8. 日常業務の中で“解答を書く力”を鍛える

1

◆ “解答を書く力”とは、以下の3つの力の  
総合力

- 「1分で理解できる解答」を書く力
- 文に変換する力
- 文の作成力 ←

2

## 文の作成力とは

- ◆ 文の作成力とは、「内容が明確に伝わる文」  
で解答を書く力のこと
- ◆ 試験問題は小問に分かれている
  - 必須科目：(1)～(4)
  - 選択科目：専門知識⇒「述べよ」、「説明せよ」など
  - 同 応用能力⇒(1)～(3)
  - 同 問題解決能力及び課題遂行能力⇒(1)～(3)
- ◆ 小問には文の集合体で解答する
- ◆ 文は解答を書くうえでの最小単位

3

◆ 解答の中の一つひとつの文を内容が明  
確に伝わるように書くことで、その集合体  
である小問の解答の内容も明確に伝わる

◆ 一文でも内容が明確に伝わらない文を書  
くと解答全体も明確に伝わらない

➤ 連帯責任

4

◆ 例えば、AとBの文を比較する

- Aの文は内容が明確に伝わらない
- Bの文は内容が明確に伝わる

A: ICTを建設現場で活用することで様々な管理  
が可能になる。

B: ICTを建設現場で活用することで、例えば、重  
機情報管理、作業情報管理、製品管理、  
出来形管理などが可能になる。

5

## 日常業務の中で鍛える

- ◆「6つのルールと18の書き方」を使って日常業務の中で文の作成力を鍛える
  - ルール6(明確に伝わる文を書く)を使う

【6つのルールと18の書き方】	
ルール	書き方の内容
ルール1	見出しに書く 書き方1 見出しに書く 書き方2 見出しに書く
ルール2	本文を書く 書き方3 見出しに書く 書き方4 見出しに書く
ルール3	図表を書く 書き方5 見出しに書く 書き方6 見出しに書く
ルール4	表を書く 書き方7 見出しに書く 書き方8 見出しに書く
ルール5	表を書く 書き方9 見出しに書く 書き方10 見出しに書く
ルール6	明確に伝わる文を書く 書き方11 見出しに書く 書き方12 見出しに書く 書き方13 見出しに書く 書き方14 見出しに書く 書き方15 見出しに書く 書き方16 見出しに書く 書き方17 見出しに書く 書き方18 見出しに書く

出典：マンガでわかる技術文書の書き方

6

### ◆「ルール6」について

- 書き方13: 具体的な文を書く
  - 文を読んだときその内容が頭の中に浮かんでくるような具体的な文を書くこと
- 書き方14: 意味が明確な文を書く
  - 意味が明確になるように必要な語句を忘れずに文を書くこと
- 書き方15: 能動態の文を書く
  - 書き手が「考えたこと・判断したこと・思ったこと」を書く場合には能動態の文を書くこと
- 書き方16: 短い文を書く
  - 簡潔でスリムな短い文を書くこと

7

- 書き方17: 肯定文を書く
  - 肯定の内容で文を書くこと
- 書き方18: 文法を守って文を書く
  - 文法を守って文を書くこと
    - ①主語と述語が一致する文を書く
    - ②修飾語と被修飾語の関係が明確な文を書く

8

- ◆日常業務の中で様々な技術文書を書く
  - 業務報告書、会議の資料、メールなど
- ◆ルール6(明確に伝わる文を書く)を使ってこれらの技術文書を書くことで文の作成力を鍛えることができる
  - 例えば、ルール6を使ってメールを書くことで文の作成力を鍛えることができる
- ◆これを継続することで文の作成力を鍛えることができる

9

A

高度成長期に集中して建設された多くの橋梁やトンネルの老朽化が急速に進んでいるが、これらの構造物の多くを管理している地方自治体では、技術、資金、人材不足でこれらの老朽化対策が進んでいない。

B

高度成長期に集中して建設された多くの橋梁やトンネルの老朽化が急速に進んでいる。しかし、これらの構造物の多くを管理している地方自治体では、技術、資金、人材不足でこれらの老朽化対策が進んでいない。

- 書き方16: 短い文を書く(一文一義で書く)

10

### ■「短い文を書く」についての重要事項

- ◆短い文を書くことは重要
  - 建設分野でのICT技術の導入に対する課題を述べることとする。(句点を入れて28文字)
  - 建設分野でのICT技術の導入に対する課題を述べる。(句点を入れて23文字)
- ◆たかが5文字、されど5文字
- ◆長い文を書けば無駄なマス目を使う
  - 解答として書けることが減る

11

## 「1分で理解できる解答」の書き方との対応

- ◆ 解答の要点と要点の説明を内容が明確に伝わる文で書くことで、「1分で理解できる解答」の内容が明確に伝わる
  - 解答の要点に書いてある文が明確に伝わる
  - 要点の説明に書いてある文が明確に伝わる
    - ➡「1分で理解できる解答」が明確に伝わる
- ◆ 内容が明確に伝わる文を書くことは、「1分で理解できる解答」を書くうえでの基礎

12

A

在宅勤務の問題は、情報漏洩の危険性が出てくることである。会社内で仕事を行う場合には、会社内にある情報が外部に流出する可能性は小さい。しかし、在宅勤務になると、在宅勤務によって情報が外部に流出する危険性が出てくる。

B

在宅勤務の問題は、情報漏洩の危険性が出てくることである。会社内で仕事を行う場合には、社内のセキュリティによって会社内にある情報が外部に流出する可能性は小さい。しかし、在宅勤務になると、自宅で使うパソコンのセキュリティが会社のセキュリティに比べて脆弱になる。そのため、在宅勤務によって情報が外部に流出する危険性が出てくる。

- 書き方14:意味が明確な文を書く

13

## 【参考資料】

- ◆ 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「日常業務の中で“文の作成力”を鍛える」

14

## 次回の動画

- 日常業務の中で“解答を書く力”を鍛える
  - 3項目の方針
    - 記述式試験の特徴を考えた受験勉強をする
    - “解答を書く力”を鍛える
    - 日常業務の中で“解答を書く力”を鍛える ◀

15